

かぶ

品種

ゆきわらし（カネコ）：白サビに強く、低温肥大性の良い小かぶ～中かぶどり用品種です。肉質は軟らかで、甘み強いのが特徴です。

もものすけ（ナント）：大きさは一般的な小かぶ程度で、表面は全体に赤色です。『手で皮が剥ける』というのが特徴でサラダかぶとして生食にも適しています。果肉は薄く紅が差し、まるで桃の果肉に似ており苦みが無くほんのり甘みが広がります。



作型の例

(◆ は種 ● 収穫)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
春まき	◆ ◆		● ●						
秋まき							◆ ◆		● ●

土づくり

- ・ 土壌の状態が、品質・収量に大きく影響するので、堆肥や有機質の土壌改良資材を長期的に施用して通気性・保水性のある土づくりにつとめましょう。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥	
		本葉 2~3 枚	本葉 5~6 枚
たかおか堆肥	200		
苦土石灰	12		
野菜良好 15 号	8		
やさい燐加安 S540		1	2

播種

- ・ 播種は条間 20cm×株間 3~4cm 間隔に均一にすじ播きにします。覆土は 5mm 前後で種がかくれる程度とし、十分にかん水を行い発芽が均一になるようにしましょう。

水管理

- ・ 発芽までは、土壌水分にムラがあると均一に発芽しないため、かん水はムラにならないように注意しましょう。生育初期に土壌水分が不足すると周皮が老化し、生育後期に水分過多になると急激に肥大が進み、裂根の原因になります。生育前期は乾燥しないようにかん水を行い、生育後期には土壌が多湿にならないように、畑の排水性を良くしておきましょう。

栽培のポイント

- 間引きは遅れると茎葉の生育が優先して玉の肥大が遅れます。生育の後半には肥大が急速に進むため、早めの間引きによって、やや広めの株間を確保しましょう。
- かぶは、根こぶ病による被害を受けやすいため、播種前には必ず根こぶ病の薬剤を畑に混和し防除を行いましょう。また、根こぶ病抵抗性品種が開発されているので、品種名に「CR」の文字が付いた品種を選ぶとよいでしょう。